



海の道むなかた館年報Ⅴ

平成28年度の報告

～宗像市郷土文化学習交流館年報～



2017

宗像市教育委員会

【体験学習機能】

巻頭カラー 2

○体験学習

土日祝日に「まが玉づくり」や「土笛づくり」、「古銭鑄造体験」、「火おこし体験」などの古代体験学習を開催している。



○特別体験学習

夏休み期間中やゴールデンウィークなどの各種イベント時に、さまざまな体験学習を開催している。トヨタ自動車九州による「モノづくり教室」や「貝輪づくり」、「石けんで石剣づくり」、「オリジナル熊手づくり」などを開催した。



【交流館機能】

○陸上神幸

毎年10月1日にみあれ祭陸上神幸を支援している。宗像大社秋季大祭の海上神幸（みあれ祭）後、神湊港から神湊郵便局までの区間を、地元小中学校やコミュニティ運営協議会、宗像大社氏子青年会などの団体と協働で、三女神の神輿を担ぎ、行列を行った。



○にぎわいづくり

市民だけでなく、市外からの来館者を呼び込むため、夏休みイベントやむなかた模型作品展示会、正月イベントなどを開催し、にぎわいづくりを行った。



【博物館機能】

巻頭カラー 1

○常設展示室

常設展示室では、市内出土遺物などを展示し、宗像の歴史や文化を解説している。中央の企画展示ブースでは通常時、国登録有形文化財である「玄界灘の漁撈具及び船大工道具」を展示しており、特別展開催時にも展示スペースとして使用される。（H29年7月に一部変更）



○特別展示室

特別展示室は通常時、「沖ノ島祭祀前夜」をテーマとして、市内にある国指定史跡田熊石畑遺跡から出土した国指定重要文化財である武器形青銅器15本を中心に展示を行っている。年に数回、さまざまなテーマによる特別展示も開催される。



【世界遺産ガイダンス機能】

○ガイダンス施設

本館は平成27年7月にユネスコ世界文化遺産国内推薦候補に決定した「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の宗像市における世界遺産登録推進活動の拠点となっている（平成29年7月9日登録決定）。通常は入島できない沖ノ島の神秘的な世界を3Dでリアルに体験できるシアターもあり、子どもにもわかりやすい歴史アニメーションも上映している。



はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市民はもとより、市外の皆さんからも熱いご期待をいただき、平成24年4月28日に開館し、開館6年目の平成29年3月末で延べ679,873人の入館者をお迎えしました。

宗像市は、海・川・山という豊かな自然と田畑に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻んでおり、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。

当館では、それらの貴重な文化遺産を次世代に守り伝えるべく、まずは基礎的な調査・研究を行っています。また、その成果を展示や講座を通じて発表することによって、市民の皆さんの関心を高め、かつ楽しんでいただけるように心がけて参りました。

そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学ぶ、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験を提供することにも力を入れています。その他にも、未来を見据えて先端技術を学ぶロボット工作などの体験も用意して参りました。

このように、博物館としての機能を充実させる一方、平成29年7月9日に世界文化遺産登録が決定しました、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の保存・活用の活動拠点施設として、そのガイダンス機能、とくに沖ノ島の臨場感溢れる3D映像を提供しています。

さらに、1年間を通して四季折々に、各種イベントを実施し、市内外の皆さんの交流の場としても活用されています。

また、宗像大社は、宗像市はもとより、日本や東アジアの歴史の理解にとって欠くことのできない存在であります。当館が宗像大社の北側に隣接しているという地の利からも、一体的な発展を願っています。

開館以来、5年余りを経過した当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの方々に親しまれ、楽しまれたことを実感いたしますとともに、地域学芸員の皆さんの献身的なボランティア活動に頭が下がる思いがいたします。

私たち館員一同は、引き続き一丸となって、常に新しく、また、理想的な博物館像を模索しながら、市民の皆さんのご期待にそえるよう、さらに努力を重ねて参ります。

私たちの活動に対しまして、市内外の皆さんにいつそうのご理解・ご協力とご支援をお願い申し上げたいと存じます。

平成29年10月1日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

目次

1 海の道むなかた館の概要

1. 建設から現在にいたる経緯・・・1
2. 沿革・・・・・・・・・・・・・・1
3. 館の目的・機能・・・・・・・・・・2
4. 館の利用案内・・・・・・・・・・2
5. 館の主要施設概要・・・・・・・・・・3

2 管理運営体制

1. 組織・・・・・・・・・・・・・・4
2. 郷土文化学習交流館協議委員会・5
3. 平成28年度決算・・・・・・・・・・6
4. 郷土文化学習交流館建物概要・・・6

3 展示

1. 常設展示・・・・・・・・・・・・・・7
2. 特別展示・・・・・・・・・・・・・・8
3. 企画展示・・・・・・・・・・・・・・9
4. 第2展示室展示・・・・・・・・・・10
5. 3Dシアター・・・・・・・・・・・・12

4 体験学習

1. 古代体験学習・・・・・・・・・・・・13
2. 特別体験学習・・・・・・・・・・・・14

5 講座

1. 館長講座・・・・・・・・・・・・・・16
2. 海の道むなかた館
秋の特別展記念講座・・・・・・・・17
3. 西谷館長ギャラリートーク・・・・17
4. 出張講座（ルックルック講座）・・17

6 各種イベント

1. ゴールデンウィーク特別体験・・・18
2. 夏の課外授業
（夏休み特別体験学習）・・・・18
3. 宗像大社の陸上神幸・・・・・・・・18
4. 第3回むなかた模型
作品展示会・・・・・・・・・・・・18
5. 正月イベント・・・・・・・・・・・・18
6. ミュージウムコンサート・・・・19

7 他施設イベントとの連携・・・・・・20

8 統計

1. 月別入館者数・・・・・・・・・・・・21
2. 学校入館者数・・・・・・・・・・・・21
3. 団体入館者数・・・・・・・・・・・・21

9 参考資料

1. 宗像市郷土文化
学習交流館条例・・・・・・・・・・22
2. 宗像市郷土文化学習交流館
条例施行規則・・・・・・・・・・23
3. 館内案内図・・・・・・・・・・・・28
4. 年間スケジュール・・・・・・・・・・30

1 海の道むなかた館の概要

1. 建設から現在にいたる経緯

宗像市郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）は、玄海文化センター（アクシス玄海）という多目的な文化施設を改修することで、生まれ変わった施設である。アクシス玄海は、平成4年に開館した。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成8年には、施設の一部を観光物産館として改修し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として、集客を誇った。その後、平成20年「道の駅むなかた」のオープンにより、物産館の機能は移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月31日までは、地元の田島コミュニティ協議会が管理運営に携わっていた。

平成22年7月に宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

なお、平成25年度は西館の一部改修と館周辺整備を行った。

2. 沿革

平成4年（1992）	5月	玄海文化センター（アクシス玄海）開館
平成21年（2009）	9月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
平成22年（2010）	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
平成23年（2011）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了
	6月	第1期生地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年（2012）	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
	9月	第1期生地域学芸員養成講座（中級）の開講
平成25年（2013）	5月	海の道むなかた館西館改修工事の着手
	6月	海の道むなかた館西館改修工事の竣工
	7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
	10月	第2期生地域学芸員養成講座（初級）の開講
平成26年（2014）	3月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工
	11月	第2期生地域学芸員養成講座（中級）の開講
平成28年（2016）	9月	イコモス視察調査

3. 館の目的・機能

「宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画」では、館の理念を3つ掲げる。

- ①歴史文化の継承
- ②市民と協働し、連携する地域還元型の施設
- ③市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

これを受け、次の4つの機能を軸にして、館の運営を行う。

○博物館機能

「海の道」というテーマのもとに、玄界灘の玄関口として、古代から大陸文化との交流の窓口になった宗像について、歴史や文化を時代ごとに展示する構成である。

常設展示施設（旧石器時代から現代まで）、企画展示ブース、特別展示室を通じて、宗像の歴史の歩みをわかりやすく解説する。

○世界遺産ガイダンス機能

平成21年1月にユネスコ世界遺産の暫定リストに掲載され、平成28年1月に日本政府からの推薦が決定した、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンスを、3Dシアター、3Dモニター、展示などを活用し、解説する。（平成29年7月9日登録決定）

○体験学習機能

古代体験メニュー（火おこし、まが玉づくり、土笛づくり、古銭鑄造など）を揃え、小学生や親子連れを中心に子どもから大人まで楽しめる体験学習を実施する。

○交流館機能

過去・現在・未来をつなぐコンセプトとして、「ものづくり」を提唱。過去のものづくりとして、歴史的な道具の変遷（常設展示等）、現在・未来については、ロボットの進化（株式会社テムザック）やクルマづくり（トヨタ自動車九州株式会社）などの展示を解説する。また、喫茶コーナーとして、“SHOP海の道”を営業し、休憩スペースも設けている。

なお、歴史文化の中核施設としての位置づけから、宗像遺産のネットワーク化を図り、平成27年7月に「いせきんぐ宗像」としてグランドオープンした、国史跡・田熊石畑遺跡や、装飾古墳である桜京古墳をはじめ、宗像大社、鎮国寺など周辺施設と連携した事業を展開する。

4. 館の利用案内

○開館時間

午前9時から午後6時まで

（ただし、宗像市教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる）

○休館日

- ・月曜日（月曜日が祝日にあたるときは、その翌平日）
- ・12月29日から翌1月3日まで

（ただし、宗像市教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更することができる）

○入館料

無料（ただし、特別展示等において有料となる場合がある）

○交通アクセス

【車で】

九州自動車道若宮インターから約20分、古賀インターから約25分

【公共交通機関で】

- ・西鉄バス「東郷駅前」バス停から、宗像大社経由・〔1〕神湊波止場行き、または、〔1-2〕光陽台六丁目行きバス（約11分）、「宗像大社前」下車
- ・天神方面からは、特急バス「むなかた号」で「宗像大社前」下車

5. 館の主要施設概要

郷土文化学習交流館		
施 設 名	面 積	摘 要
【1階】		
風除室	33㎡	ホール内への外気の進入を防ぐ
郷土文化課事務室	70㎡	総合案内、郷土文化係及び文化財係事務室
ホール	397㎡	S H O P海の道、世界遺産登録推進活動紹介
ロッカー室	10㎡	来館者用ロッカー
常設展示室	386㎡	宗像の歴史展示（通史）、世界遺産関係展示、企画展示
重要文化財展示室	53㎡	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財を展示
荷解室	25㎡	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きを行う
前室	14㎡	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らす
重要文化財収蔵庫	25㎡	重要文化財等の収蔵
3Dシアター	33㎡	沖ノ島紹介3Dシアター
ボンベ室	8㎡	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244㎡	宗像地域の自然、歴史、文化等を活用した体験学習等実施
土器復元室	42㎡	埋蔵文化財復元作業等を行う
倉庫	25㎡	体験学習関係（勾玉作り、土笛作り等）道具・材料の収納
トイレ	77㎡	男女トイレ、多目的トイレ
【1階：図書館・講義室】		
宗像市民図書館	423㎡	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を充実（深田分館）
第二展示室	110㎡	企画展示や絵画展示を行う
講義室	134㎡	文化財講座及び世界遺産推進等に関する講座等の開催
館長室	33㎡	館長室
新修宗像市史編さん事務局事務室	50㎡	新修宗像市史編さん事務局事務室
清掃員控室	15㎡	清掃員の控室兼休憩室
埋蔵文化財整理室	100㎡	文化財整理作業
ボランティア控室	59㎡	地域学芸員等のボランティア活動スペース
授乳室	3㎡	図書館横授乳室
トイレ	40㎡	図書館横トイレ
【2階】		
図書整理室	96㎡	（深田分館）
図書準備室	69㎡	（深田分館）
埋蔵文化財関係書庫	69㎡	酒井文庫、文化財報告書等の収蔵
郷土資料関係書庫	31㎡	市史編纂関係資料等の収蔵
【地階：収蔵庫】		
収蔵庫	367㎡	文化財調査出土品等の収蔵
収蔵庫	41㎡	文化財調査出土品等の収蔵
機械室	25㎡	ホール用空調設備機器設置
倉庫	10㎡	文化財関係書類等保管
収蔵庫	17㎡	文化財調査出土品等の収蔵

2 管理運営体制

1. 組織

(1) 平成28年度 館の機構

館 長 西 谷 正

市民協働環境部 郷土文化課

課 長 柚 木 寿 義

○館管理運営業務

郷土文化係

係 長 安 部 裕 久

係 長 合 島 賢 二

主任主事 井 上 賢 司

技 師 石 山 勲

技 師 磯 部 真 生

非常勤任用職員 鎌 田 徳 隆

○文化財業務

文化財係

係 長 白 木 英 敏

主任技師 山 田 広 幸

技 師 田子森 千 子

技 師 豊 崎 晃 史 (平成28年10月1日～)

技 師 池 田 拓 (平成28年10月1日～)

技 師 佐 藤 正 義

技 師 坂 本 雄 介

再任用職員 原 俊 一

○新修宗像市史編さん業務

局 長 灘 谷 辰 生

主 査 判 田 博 明

非常勤任用職員 牛 嶋 英 俊 (～平成29年2月28日)

非常勤任用職員 須 佐 弘 美 (平成29年3月1日～)

(2) 地域学芸員

地域学芸員は、平成23～26年度に実施した、第1期・第2期地域学芸員養成講座（初級・中級）の修了者を対象に、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担ってもらっている。

平成28年度は、71人が市民ボランティアとして地域学芸員の活動を行っており、1回の活動に対し、1,000円の特別旅費を支払っている。

○定例活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・計
協力者数	54	54	55	56	58	57	55	58	54	56	59	56	56
延人数	185	194	178	179	183	166	161	169	159	180	161	177	2,092

2. 郷土文化学習交流館協議会

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識関係者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し、必要項目を審議する機関である。

(1) 第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成28年9月27日（火）

会場：海の道むなかた館 講義室

報告：(1) 平成28年度第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録の確認について

(2) 平成28年度宗像市郷土文化学習交流館事業報告（年報）について

(3) 平成28年度宗像市郷土文化学習交流館事業（4月～9月）について

(4) 国内推薦「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の現状と今後について

(2) 第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会

期日：平成29年3月30日（木）

会場：海の道むなかた館 講義室

報告：(1) 平成28年度宗像市郷土文化学習交流館事業の状況について

(2) 国内推薦「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の現状と今後について

議事：平成29年度宗像市郷土文化学習交流館事業計画（案）について

○宗像市郷土文化学習交流館協議会委員名簿

任期：平成26年10月1日～平成28年9月30日

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学校教育及び社会教育の関係者	樋 田 京 子	太宰府市教育委員会教育委員
2		藤 周 作	玄海東小学校教頭
3	家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟 田 貴美子	自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会 青少年育成部会会長
4	学識経験者	亀 井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
5		河 窪 奈津子	宗像大社神宝館文化財管理局学芸員
6		藤 本 幸 男	東海大学福岡短期大学教授
7	市民代表	海 出 耐 祐	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
8		園 元 かをり	市民ボランティア（地域学芸員）

任期：平成29年3月1日～平成31年2月28日

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学校教育及び社会教育の関係者	樋 田 京 子	太宰府市教育委員会教育委員
2		藤 周 作	玄海東小学校教頭
3	家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟 田 貴美子	自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会 青少年育成部会会長
4	学識経験者	亀 井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
5		河 窪 奈津子	宗像大社神宝館文化財管理局学芸員
6	市民代表	海 出 耐 祐	玄海地区コミュニティ運営協議会会長
7		園 元 かをり	市民公募（海の道むなかた館地域学芸員）

3. 平成28年度決算

海の道むなかた館予算（円）	展示活用事業費	管理運営費
総額	13,173,498	30,290,298
報酬	1,800,000	3,670,800
共済費	289,258	15,981
報償費	117,250	0
賃金	0	1,690,650
旅費	2,212,600	28,000
需用費	2,865,637	10,327,308
役務費	203,361	680,863
委託料	5,670,652	12,657,660
使用料及び賃借料	4,740	571,036
工事請負費	0	648,000
備品購入費	0	0
負担金・補助及び交付金	10,000	0
公課費	0	0

4. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田588番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上3階 地下1階
敷地面積	11,082.02m ²
用途地域	準都市計画区区域内（平成24年4月1日現在）
既存建物床面積	3,973.26m ²
既存建物建築面積	2,934.38m ²
既存建物竣工年月日	平成4年3月31日
現建物床面積	3,901.42m ²
現建築面積	2,978.85m ²

3 展 示

1. 常設展示

いにしえより、人や物が絶え間なく往来した玄界灘を舞台に、悠久の歴史を刻んできた宗像。この宗像の人々が活躍した玄界灘の交易に着目し、「海の道」をテーマに宗像市における旧石器時代から現代までのさまざまな「道」について紹介する。

○展示物

【ヒトの来た道】

時 代：旧石器時代～縄文時代

展示物：(旧石器時代) 池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器など
(縄文時代) さつき松原遺跡出土曾畑式土器、鐘崎(上八)貝塚出土鐘崎式土器など

【稲作が渡った道】

時 代：弥生時代

展示物：東郷登り立遺跡出土弥生土器、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧など

【最先端技術が渡った道】

時 代：古墳時代

展示物：富地原川原田遺跡出土土器(甕、手づくね土器、台付鉢など)、大島大岸遺跡出土移動式竈、大井三倉遺跡出土須恵器甕、大井三倉遺跡出土須恵器高坏など

【半島・大陸との交流の道】

時 代：古墳時代

展示物：朝町山ノロ遺跡出土鉄鉗、野坂一町間遺跡出土鉄滓、久原遺跡Ⅱ区3号墳出土円筒埴輪、久原瀧ヶ下遺跡出土コップ型土器、東郷高塚古墳出土管玉など

【拡大する海外交流の道】

時 代：古代～中世

展示物：武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器など

【街道と海女の道】

時 代：江戸時代～現代

展示物：赤間宿跡出土遺物(屋号銘入り徳利、染付碗など)、海女道具一式(県指定文化財)など

○刊行物

『海の道むなかた館展示図録』(A4版 16ページ フルカラー)



2. 特別展

(1) 春の特別展「稲元八幡宮と地域遺産」

期 間：平成28年4月26日(火)～6月12日(日)

内 容：地域コミュニティの核として存在してきた歴史がある、宗像市稲元の八幡宮を中心として、社を取り巻く歴史、生活、信仰などを掘り起こして、過去から現在、そして未来を見つめる展示を行った。

また、特別展の会期と併せて、現地説明会も行った。

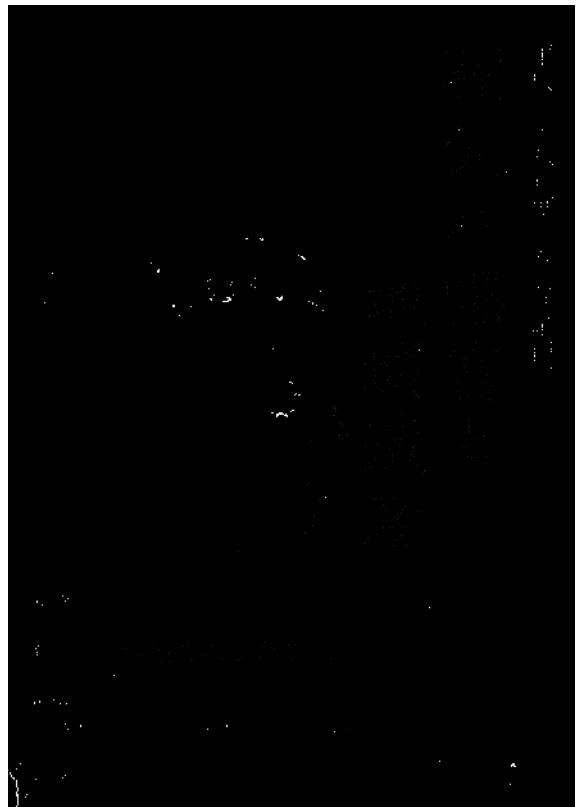
展示物：発掘調査で出土した弥生時代から古墳時代の遺物、解体された稲元八幡宮拝殿の建築部材や絵馬、石造物などの写真パネルの展示、川まつりの様子の復元など

入場料：無料

刊行物：『平成28年度春の特別展 稲元八幡宮と地域遺産』

(特別展示図録 A4版 28ページ フルカラー)

関連事業：現地説明会



(2) 秋の特別展「むなかたの山岳信仰 —ムナカタの考古学6—」

期 間：平成28年9月27日(火)～11月13日(日)

内 容：平安時代以降からむなかた地域に存在した修行者ルート「宝満山春峰入り」ルート。そこから出土したさまざまな文化財を一堂に集め、宗像地方で信仰された山岳信仰の世界を再現し、解説した。また、特別展の会期と併せて、特別展記念講座も開催した。

展示物：軒丸瓦(久山町教育委員会蔵)、田野瀬戸遺跡出土板碑(宗像市教育委員会蔵)、宗像市山田経塚出土銅製経筒(東京国立博物館蔵)、銅如来像(英彦山神宮蔵/国指定重要文化財)など

入場料：無料

刊行物：『平成28年度秋の特別展 むなかたの山岳信仰—ムナカタの考古学6—』

(特別展示図録 A4版 60ページ フルカラー)

関連事業：特別展記念講座(P.17参照)



3. 企画展

(1) 夏の企画展「むなかたの漂着物展」

期 間：平成28年 7月20日(水)～9月4日(日)

内 容：宗像市は長大な海岸線を持ち、海藻やヤシの実などの漂着物やペットボトルなどの生活ゴミなど、多くの漂着物が流れ着く。今回は、ロマンを感じる寄物からマイクロチップのような環境へ悪影響を与えるものまで、さまざまな漂着物を展示・解説し、また、私たちにも可能な環境を守る方法も紹介した。

展示場所：企画展示ブース

展示物：漂着した植物、海生生物、沈船の遺物、漂着ゴミ、マイクロチップなどの展示、漂着物についてや漂着物研究の第一人者・故石井忠氏の紹介などのパネル展示

入場料：無料



(2) 第3回むなかた模型作品展示会

期 間：平成28年11月12日(土)、13日(日)

内 容：住民・NPO・企業・行政の各主体が協力し、それぞれの立場を生かした役割分担を行いながら実施した。入場者による作品の人気投票や親子プラモデル組立て教室、モノづくり教室などの特別体験学習も開催した。また、展示会終了後の約1カ月間、体験学習室にて、各部門の優秀作品を展示した。

展示場所：海の道むなかた館

展示物：神社・仏閣・城郭・情景などのスケール模型、自動車・バイク模型、ロボット（キャラクター）模型など的人气投票出展作品、Nゲージ展示など

入場料：無料



4. 第2展示室展示

(1) 第3回滝純一絵画展

期 間：平成27年7月14日(火)～平成28年5月19日(木)

内 容：福岡教育大学名誉教授・滝純一氏の絵画作品、「異風景の中で」(2001年)、「過ぎる犬」(1991年)、「騎士物語(聖馬)」(2007年)などを展示した。

主 催：宗像市郷土文化課

(2) 「みあれ祭の日に」絵本原画展

期 間：平成28年5月24日(火)～6月26日(日)

内 容：宗像市が目指すグローバル人材育成の一環として、平成27年に開催された「宗像歴史未来塾～宗像の絵本づくりプロジェクト～」。宗像の中学生21人が宗像の歴史や文化を学び、その集大成として制作した絵本『みあれ祭の日に』の発売を記念して、絵本の原画、絵本づくりの風景写真、完成した絵本などを展示した。

主 催：宗像歴史未来塾～宗像の絵本づくりプロジェクト～
福岡教育大学 美術教育講座
宗像市郷土文化課

(3) 玄海東小学校 POP展

期 間：平成28年7月20日(水)～8月31日(水)

内 容：玄海東小学校の5年生が国語の授業で制作した、おすすめの本の紹介カードを展示した。
また、紹介している本は、深田分館で貸出できるよう配架した。

主 催：玄海東小学校

(4) 清水耕蔵作品展

期 間：平成28年9月2日(金)～9月27日(火)

内 容：ミュージアムコンサートとのコラボ企画として、絵本作家・清水耕蔵氏の作品を、“神話の世界”をテーマに、連作「ヤマタノオロチ」や「天の鳥舟」、「日本の神話」など約20点を展示した。

主 催：宗像市郷土文化課

(5) 習字作品展

期 間：平成28年9月30日(金)～10月26日(水)

内 容：“書を楽しむ”をテーマに、市民協働による市民図書館の利用促進事業・雑誌スポンサー連携企画として習字作品展を開催した。第2展示室に加え、市民図書館深田分館内でも作品の展示を行った。

主 催：宗像市図書課

(6) 「わたしたちの水」絵画コンクール 作品展示

期 間：平成28年11月1日(火)～11月27日(日)

内 容：“かけがえのない水”をテーマに、水の大切さを訴える絵画展。宗像市及び福津市在住の小学4、5、6年生を対象に募集した作品の中から、入賞作品50点を展示した。

主 催：宗像地区事務組合

(7) 釣川の改修につくした人々

期 間：平成28年12月2日(金)～平成29年1月5日(木)

内 容：小学4年生のカリキュラムにある「郷土の発展に尽くす」に合わせた展示企画。釣川の改修作業にあたった、郡代・大森善左衛門と郡奉行・富永軍次郎たちの業績を伝える解説パネルと道具類を展示した。

主 催：宗像市郷土文化課

(8) 第65回福岡県小学校児童画展 入選作品展(宗像区)

期 間：平成29年1月7日(土)～1月20日(金)

内 容：福岡県小学校児童画展の「福岡県入選」作品(宗像市・福津市児童分)を展示した。

主 催：宗像区小学校図画工作教育研究会

(9) 宗像市・福津市・レッジョエミリア市 第4回イタリア交流児童画展

期 間：平成29年1月21日(土)～2月11日(土)

内 容：福岡教育大学と連携する宗像市と福津市の小学校と、イタリアのレッジョエミリア市の学校の交流事業の一環として、両国の児童が描いた絵を展示した。

主 催：福岡教育大学 美術教育教室

(10) 海の道むなかた館～5年間の軌跡～

期 間：平成29年3月1日(水)～4月30日(日)

内 容：開館から5年。海の道むなかた館で今までに開催した特別展や講座の実績、地域学芸員の取り組みなどを紹介パネルを中心に展示し、海の道むなかた館の5年間の歩みを紹介した。

主 催：宗像市郷土文化課



▲「みあれ祭の日に」絵本原画展
(平成28年5月24日～6月26日)



▲清水耕蔵作品展
(平成28年9月2日～9月27日)

5. 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。そのほかに、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

○3D番組

(1)「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(上映時間：11分)

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群をわかりやすく解説する。



(2)「宗像大社の神事一人々の信仰と祈りー」(上映時間：13分)

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。

(3)「沖ノ島の自然ー太古の姿をそのままにー」

(上映時間：8分)

沖ノ島全島は、1926年（大正15年）に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの大繁殖地となっていることなどを紹介する。



(4) アニメ「海の民 ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」（梓書院）を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介する。（フィクション）

第1話ー「玄界灘の守り神」(上映時間：9分)

第2話ー「海人の都ムナカタ」(上映時間：7分)

第3話ー「ムナカタとヤマトをつないだ海人」(上映時間：13分)

第4話ー「玄界灘の軍神」(上映時間：10分)

第5話ー「海の民ムナカタ」(上映時間：11分)



(5) アニメ「海の民 ムナカタ」総集編(上映時間：18分)

総集編では、弥生時代から奈良時代にかけて大陸からの影響を受けながら大きく変化していく時代に生きた宗像の人々の心情や動向を描いている。



○平成27年度3Dシアター入場者数一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入場者数	1,087	2,605	2,000	1,530	2,112	2,877	3,208	3,360	2,098	1,524	1,469	2,073	25,943
上映回数	244	424	314	297	410	398	404	427	282	320	278	389	4,187

4 体験学習

1. 古代体験学習

毎週末及び祝日、イベント等で実施。

○まが玉づくり体験

内容：爪でも削れるやわらかい石・滑石を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで削って作る。イベント等では、ピンクや黒の石も用意し、選べるまが玉づくりを開催した。

料金：100円（選べるまが玉づくりでは、100円～200円）

○火おこし

内容：マイギリという火おこしの道具を使用し、マイギリ式の火おこしを行う。

料金：100円

○土笛づくり

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オープン粘土を使用して、土笛をつくる。

料金：100円

○古銭鑄造

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した、和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使用し、古銭をつくる。

料金：100円

○平成28年度 古代体験学習（定例及び団体）・月別集計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まが玉づくり	有料	23	138	35	78	72	164	88	63	32	18	39	88	838
	無料	0	195	389	29	0	0	81	0	0	0	13	92	799
	計	23	333	424	107	72	164	169	63	32	18	52	180	1,637
火おこし体験	有料	2	4	1	2	6	3	8	10	4	6	2	5	53
	無料	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
	計	2	4	55	2	6	3	8	10	4	6	2	5	107
土笛づくり	有料	9	4	13	0	24	19	86	5	6	9	19	14	208
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	4	13	0	24	19	86	5	6	9	19	14	208
古銭鑄造体験	有料	10	4	0	3	6	14	12	2	15	5	17	1	89
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	4	0	3	6	14	12	2	15	5	17	1	89
計	有料	44	150	49	83	108	200	194	80	57	38	77	108	1,188
	無料	0	195	443	29	0	0	81	0	0	0	13	92	853
	計	44	345	492	112	108	200	275	80	57	38	90	200	2,041

※その他特別体験学習 874件（有料：654件、無料：220件） 合計 2,915件

2. 特別体験学習

○化石発掘体験

日 程：平成28年5月3日(火)～5月5日(木)

料 金：100円

参加人数：27人

内 容：宗像市吉留でサイの祖先とされる日本最古の「ヒラキウス」の化石が発見されたことから、身近に化石を感じてもらうために、化石を発掘する体験を行った。



▲化石発掘体験

○石けんで石剣づくり

日 程：平成28年5月3日(火)～5月5日(木)

料 金：無料

参加人数：24人

内 容：宗像市田熊石畑遺跡から出土した石剣をモデルに、廃油でつくったエコ石けんを使用して石剣をつくった。



▲石けんで石剣づくり

○トヨタ自動車九州モノづくり教室

～ホバークラフトを走らせてみよう～

日 程：平成28年7月30日(土)、31日(日)

料 金：無料

参加人数：101人

内 容：トヨタ自動車九州モノづくり教室と協働で開催。ホバークラフトが浮上する原理を実践やデモ機で学び、実際にモーターで動くホバークラフトを作って、走行テストを行った。



▲トヨタ自動車九州モノづくり教室

○宗像の歴史絵本を聞いてコラージュしよう

日 程：平成28年8月6日(土)、7日(日)

料 金：100円

参加人数：36人

内 容：福岡教育大学と協働で開催。沖ノ島を題材にした宗像の歴史絵本の読み聞かせを聞いて、イメージしたものをビーズや和紙、布などでコラージュ（貼り絵）した。



▲宗像の歴史絵本を聞いてコラージュしよう

○企画展「海流のちから」を見て、貝輪をつくろう

日 程：平成28年 8 月20日(土)

料 金：無料

参加人数：9 人

内 容：企画展「海流のちから」を見た後、縄文人がつくっていた「貝輪」をつくりながら、縄文時代の歴史や生活を学んだ。



▲企画展「海流のちから」を見て、貝輪をつくろう

○むなかた模型作品展示会 特別体験学習

日 程：平成28年11月12日(土)、13日(日)

内 容：むなかた模型作品展示会と連動して、模型（プラモデル）に関する特別体験学習を開催した。



▲山梨ワイン振興会「親子プラモ組立教室」

▼山梨ワイン振興会「親子プラモ組立教室」

参加人数：18人

参加費：無料

内 容：親子で力をあわせて、飛行機の模型（プラモデル）をつくった。

▼株式会社イーケイジャパン

「親子『ソーラーペガサス』組立会」

参加者：39人

参加費：無料

内 容：太陽光で発電して動く「ソーラーペガサス」をソーラー工作キットを使ってつくった。



▲株式会社イーケイジャパン
「親子『ソーラーペガサス』組立会」

○オリジナル熊手づくり

日 程：平成29年 1 月 1 日(日・祝)～1 月 3 日(火)

料 金：無料

参加人数：17人

内 容：正月イベントで開催。縁起物である熊手に、おめでたい富士や鶴、おかめなどの折り紙や謹賀新年のシールなどを貼って、オリジナルの熊手をつくった。



▲オリジナル熊手づくり

5 講座

1. 館長講座

- 概要：西谷正館長による講座を毎月1回開催した。平成28年度は、朝鮮半島の歴史を考古学的成果をふまえ、わかりやすく解説した。
- テーマ：古代の朝鮮半島
- 回数：12回
- 会場：海の道むなかた館 講義室（体験学習室）
- 時間：13時30分～15時30分
- 受講料：無料
- 定員：各回80名
- 受講者数：延べ847名

回数	月 日	内 容
第1回	4月10日(日)	統一新羅と渤海の時代
第2回	5月8日(日)	新羅王京と九州五小京
第3回	6月12日(日)	統一新羅の寺院跡
第4回	7月10日(日)	統一新羅の古墳と王陵
第5回	8月14日(日)	統一新羅の土器・陶器と瓦埴
第6回	9月11日(日)	正倉院の新羅文物
第7回	10月10日(月・祝)	渤海五京の遺跡(1)
第8回	11月6日(日)	渤海五京の遺跡(2)
第9回	12月11日(日)	渤海五京の遺跡(3)
第10回	1月8日(日)	渤海五京の遺跡(4)
第11回	2月12日(日)	ロシアの渤海遺跡
第12回	3月12日(日)	渤海と日本の考古学

《番外編》

「北朝鮮の遺跡を訪ねてー2016」

- 日時：7月31日(日)13時30分～15時30分
- 会場：海の道むなかた館 講義室
- 受講料：無料
- 定員：80名
- 受講者数：57名

2. 海の道むなかた館秋の特別展記念講座

秋の特別展「むなかたの山岳信仰ームナカタの考古学6ー」にあわせて講演を行った。

《第1回》 ○日 程：平成28年10月2日(日) 10時～12時
 ○演 題：「宝満山とむなかたの山岳修験」
 ○講 師：森 弘子（宗像市文化財保護審議会委員）
 ○受講者数：56名

《第2回》 ○日 程：平成28年10月30日(日) 13時30分～15時30分
 ○演 題：「中世山林寺院 首羅山遺跡の世界」
 ○講 師：江上 智恵（久山町教育委員会）
 ○受講者数：56名

3. 西谷館長ギャラリートーク

○概 要：正月三が日に、毎年恒例の西谷正館長によるギャラリートークを開催した。

○テーマ：「卑弥呼の鏡・大刀と玉」

○日 程：平成29年1月1日(日・祝)～1月3日(日) 10時から11時

○演 題：平成29年1月1日(日・祝) 「卑弥呼の鏡(1)」

1月2日(月) 「卑弥呼の鏡(2)」

1月3日(火) 「卑弥呼の大刀と玉」

○受講者数：計101名

4. 出張講座（ルックルック講座）

○講座名：宗像地域の歴史を学ぶ

○内 容：宗像地域の歴史について、映像や体験などを交えながら学ぶ

区 分	団 体	実施日	受講者数
小学校	日の里西小6年	6月2日	51
	日の里西・東小	8月7日	49
	河東西小4年	1月30日	85
	日の里西小3年	2月15日	53
	河東西小6年	5月25日	91
	赤間西小4年	11月2日	87
	自由ヶ丘小3年	1月25日	87
	赤間小4年	2月21日	87
	河東西小	8月25日	30
	赤間小3年	2月3日	148
	玄海東小3年	2月10日	18
	玄海小3年	2月22日	10
中学校	宗像中	10月20日	80
その他	むなかた歴史を学ぼう会	5月12日	8
	市民学習ネットワーク	9月23日	15
	日の里地区シニアクラブ	12月11日	180
	むなかた歴史を学ぼう会	1月27日	13

6 各種イベント

1. ゴールデンウィーク特別体験学習

○日 程：平成28年5月3日(火)～5月5日(木)

○内 容：選べるまが玉づくりや化石発掘体験、石けんで石剣づくりを開催した。

○入館者数：1,760人

2. 夏の課外授業（夏休み特別体験学習）

○日 程：平成28年7月26日(火)～8月31日(水)＊夏休み期間中

○内 容：トヨタ自動車九州によるモノづくり教室やコラージュづくり、貝輪づくりなどを開催した。

○備 考：P.14、15参照

3. 宗像大社の陸上神幸

○日 程：平成28年10月1日(土)

○内 容：宗像大社の海上神幸（みあれ祭）の後、地元のコミュニティや小中学生、宗像大社氏子青年会などの奉仕者が、奉行や巫女、稚児の衣装を身に纏い、神湊の頓宮から神湊郵便局まで、宗像三女神のご神体を乗せた神輿を担いだ。

4. 第3回むなかた模型作品展示会

○日 程：平成28年11月12日(土)、13日(日)

○内 容：模型作品展示会にあわせて、協力団体によるプラモデルの組立教室を開催した。また玄関前では、「青空マルシェ in むなかた館」を開催し、宗像産の物産販売ブースや飲食の出店ブースを開設した。

○入館者数：3,233人

5. 正月イベント

○日 程：平成29年1月1日(日・祝)～1月3日(火)

○内 容：「縁起物オリジナル熊手づくり」、「選べるまが玉づくり」などの正月特別体験学習や獅子舞を行った。また、展示室では、西谷正館長によるギャラリートークを開催した。

○入館者数：2,285人



▲ゴールデンウィーク特別体験学習



▲第3回むなかた模型作品展示会

6. ミュージアムコンサート

2カ月に1回（奇数月）、館への集客と文化振興のため、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。

（1）Vol. 23 フルートアンサンブル 楽笛（らくふえ）

- 日 時：平成28年5月20日（金）18：30～19：30
- 出演者：楽笛（らくふえ）
- 曲 目：アイネクライネナハトムジーク、
花のワルツ、ホールニューワールド 他
- 参加者数：86名



Vol. 23 フルートアンサンブル
楽笛（らくふえ）

（2）Vol. 24 ～夏の夜の夢物語～summer night jazz

- 日 時：平成28年7月15日（金）19：00～20：00
- 出演者：轟 かおり、石川 雄一
- 曲 目：Lover come back to me、
Close to you、やさしさに包まれたなら 他
- 参加者数：113名



Vol. 24 ～夏の夜の夢物語～
summer night jazz

（3）Vol. 25 絵本画家 清水耕蔵の世界

- 日 時：平成28年9月16日（金）19：00～20：00
- 出演者：清水 耕蔵、清水比呂之（絵本の蔵 館長）
- 演 目：きんいろのしか（アニメーション）、
清水耕蔵&清水比呂之 対談 他
- 参加者数：117名



Vol. 25 絵本画家
清水耕蔵の世界

（4）Vol. 26 ～魅惑のバリトンに酔いしれて～ 気軽にOpera（オペラ）

- 日 時：平成28年11月18日（金）19：00～20：00
- 出演者：横山 浩平（バリトン）、花田 隆子（ピアノ）
重住 千寿香（ソプラノ）
- 曲 目：待ちぼうけ、宵待ち草、
メリーウィドウワルツ 他
- 参加者数：145名



Vol. 26 ～魅惑のバリトンに
酔いしれて～

(5) Vol. 27 ～新春恒例和のしらべ～尺八と箏の演奏会

- 日 時：平成29年1月20日(金) 18:30～19:30
- 出演者：矢野 径山(尺八)、
富久 歌紅(箏)、他 富久社中
- 曲 目：さくら21、黒田節変奏曲、月下美人 他
- 参加者数：43名



Vol. 27 ～新春恒例和のしらべ～
尺八と箏の演奏会

(6) Vol. 28 春を呼ぶ大人のクラシック

- 日 時：平成29年3月17日(金) 18:30～19:30
- 出演者：関口 弘二(チェロ)、
井口 京子(ピアノ)
- 曲 目：花、G線上のアリア、
ムーンライトセレナーデ 他
- 参加者数：84名



Vol. 28 春を呼ぶ大人の
クラシック

7 施設イベントとの連携

市内にある施設の事業への参加。

1. 福岡県立宗像中学校・高等学校 文化祭

- ・日 程：平成29年5月28日(土)
- ・参加人数：60人(まが玉づくり)

2. いせきんぐ宗像周年祭2016

- ・日 程：平成28年7月23日(土)
- ・来園者数：3,100人

3. 北斗の水くみ・星空観望会

- ・日 程：平成28年10月8日(土)
- ・参加人数：70人

4. プラネタリウムと北斗の水くみ 海浜公園で星空ウォッチング

- ・日 程：平成28年11月12日(土)
- ・参加人数：71人

5. 福岡県立玄海少年自然の家「玄海の家」 玄海わくわくフェスタ

- ・日 程：平成28年11月23日(土)
- ・参加人数：54人(まが玉づくり)

6. むなかたわくわく教育フェスタ

- ・日 程：平成29年1月29日(日)
- ・参加人数：33人(まが玉づくり)

7. いせきんぐ宗像・秋祭り

- ・日 程：平成28年11月27日(日)
- ・参加人数：300人

8 統 計

1. 平成28年度 月別入館者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
9,838	10,775	10,193	11,733	11,818	11,953	15,005	16,482	11,385	12,978	9,328	12,453	143,941

累計 679,873

2. 学校入館者数

○市内小学校

学校名	学年	日付	児童数	引率	合計
赤間小学校	6年生	6月7日(火)、6月8日(水)	141	6	147
	4年生	11月16日(水)	142	7	149
河東小学校	6年生	5月11日(水)	112	6	118
南郷小学校	6年生	7月13日(水)	27	2	29
東郷小学校	6年生	6月14日(火)	83	3	86
日の里東小学校	6年生	6月15日(水)	55	3	58
日の里西小学校	6年生	6月2日(木)	51	3	54
自由ヶ丘小学校	5年生	3月1日(水)	90	4	94
赤間西小学校	3年生	10月6日(木)	62	3	65
	4年生	2月21日(火)	82	3	85
自由ヶ丘南小学校	6年生	5月17日(火)	63	3	66
	4年生	12月1日(木)	77	3	80
河東西小学校	6年生	6月23日(木)	91	4	95
玄海小学校	3年生	6月1日(水)	11	5	35
	4、6年生	5月13日(金)	12	2	14
玄海東小学校	3年生	6月1日(水)	18	－	－
地島小学校	6年生	5月13日(金)	5	2	7
	3年生	6月1日(水)	1	－	－
大島小学校	5、6年生	2月23日(水)	11	2	14
合 計					1,196

※6月1日(水)は、玄海小学校・玄海東小学校・地島小学校の3校合同事業

○市内中学校

学校名	学年	日付	児童数	引率	合計
玄海中学校	1年生	10月6日(木)	41	5	46
福岡県立宗像中学校	1年生	10月28日(金)	77	4	81

3. 団体入館者数 ※(2)の学校は除く

○その他団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	9	25	23	22	18	19	27	42	14	10	16	22	247
人 数	193	783	744	512	326	543	834	932	187	328	246	486	6,114

○旅行会社・ツアー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体数	2	4	0	4	1	18	8	22	31	3	4	10	107
人 数	38	73	0	104	35	749	354	718	1,362	40	136	312	3,921

9 参考資料

1. 宗像市郷土文化学習交流館条例

平成23年12月28日

条例第23号

(設置)

第1条 地域の文化的資源である歴史、民俗、自然等に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示してその教育的活用を図り、もって市民の教育、学術及び文化の振興に寄与するため、宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 交流館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
宗像市郷土文化学習交流館	宗像市深田

(事業)

第3条 交流館は、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 交流館の事業の企画及び実施に関すること。
- (2) 資料の貸出し等に関すること。
- (3) 学校、地域等が実施する教育的活動との連携に関すること。
- (4) 世界遺産登録推進活動に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、交流館の設置の目的達成に必要な事業に関すること。

(職員)

第4条 交流館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第5条 宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、次の各号のいずれかに該当するときは、交流館の入館を拒み、又は交流館からの退去を命ずることができる。

- (1) 管理運営上の指示又は指導に従わないとき。
- (2) その他管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第6条 交流館に入館した者が、その責めに帰すべき事由により、施設、附属設備、展示品若しくは資料を破損し、滅失し、又は汚損したときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第7条 交流館の運営に関し必要な事項を審議するため、宗像市郷土文化学習交流館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、8人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者
- (4) 市民代表

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成24年4月28日から施行する。

2. 宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則

平成24年1月12日

教育委員会規則第2号

改正 平成25年1月22日教委規則第1号

平成27年3月18日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、宗像市郷土文化学習交流館条例（平成23年宗像市条例第23号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 宗像市郷土文化学習交流館（以下「交流館」という。）の開館時間は、午前9時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、宗像市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に開館することができる。

(休館日)

第3条 交流館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(遵守事項)

第4条 交流館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 館内で喫煙をし、又は火気を使用しないこと。

(2) 定められた場所以外での飲食をしないこと。

(3) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、交流館の管理及び運営に必要な指示に反する行為をしないこと。

(資料の貸出し)

第5条 教育、学術又は文化に関する団体等であつて、資料の貸出しを受けようとするものは、宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

3 資料の貸出しを受けた者は、教育委員会の指示に従い当該資料を管理するとともに、それを転貸してはならない。

(資料の撮影等)

第6条 資料の撮影、拓本、模写、模造、複製、実測図作製等をしようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

(寄贈又は寄託)

第7条 交流館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 交流館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書(様式第3号)により教育委員会に申し込まなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の規定による申込みがあったときは、その可否を決定し、申込者に通知するものとする。
- 4 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に通知するものとする。

(寄贈等資料の取扱い)

第8条 寄贈又は寄託を受けた資料の取扱いは、特別の定めがあるものを除き、交流館が管理する一般の資料と同じ取扱いとする。

- 2 寄託を受けた資料が、天災地変その他不可抗力により破損し、滅失し、又は汚損した場合は、教育委員会はその賠償の責めを負わない。
- 3 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、寄託を受けた資料を返還することができる。
 - (1) 寄託期間が満了したとき。
 - (2) 寄託者から返還の請求があったとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めたとき。

(協議会)

第9条 条例第7条に規定する宗像市郷土文化学習交流館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長1人を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 6 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会の庶務は、市民協働環境部郷土文化課において処理する。
- 8 前各号に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(平25教委規則1・平27教委規則6・一部改正)

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月28日から施行する。

附 則(平成25年1月22日教委規則第1号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月18日教委規則第6号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

様式第1号（第5条関係）

宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書

宗像市教育委員会 あて

	住 所	
申請者	氏 名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、貸出しを受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 貸出しを受けようとする目的

3 貸出しを受けようとする期間

年 月 日（ 曜日）から

年 月 日（ 曜日）まで

4 損害賠償等について

（1）資料は、借用期間中は教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。

（2）資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

様式第2号（第6条関係）

宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書

宗像市教育委員会 あて

	住 所	
申請者	氏 名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、撮影等を行いたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 撮影等の目的

3 撮影等の期間

年 月 日（ 曜日）から

年 月 日（ 曜日）まで

4 損害賠償等について

- （1）資料の撮影等を行うときは、教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。
- （2）資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

様式第3号（第7条関係）

宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書

宗像市教育委員会 あて

	住 所	
申請者	氏 名	印
	電話番号	

宗像市郷土文化学習交流館における調査研究及び展示の用に供する資料として（寄贈・寄託）したいので、下記のとおり申し込みます。

記

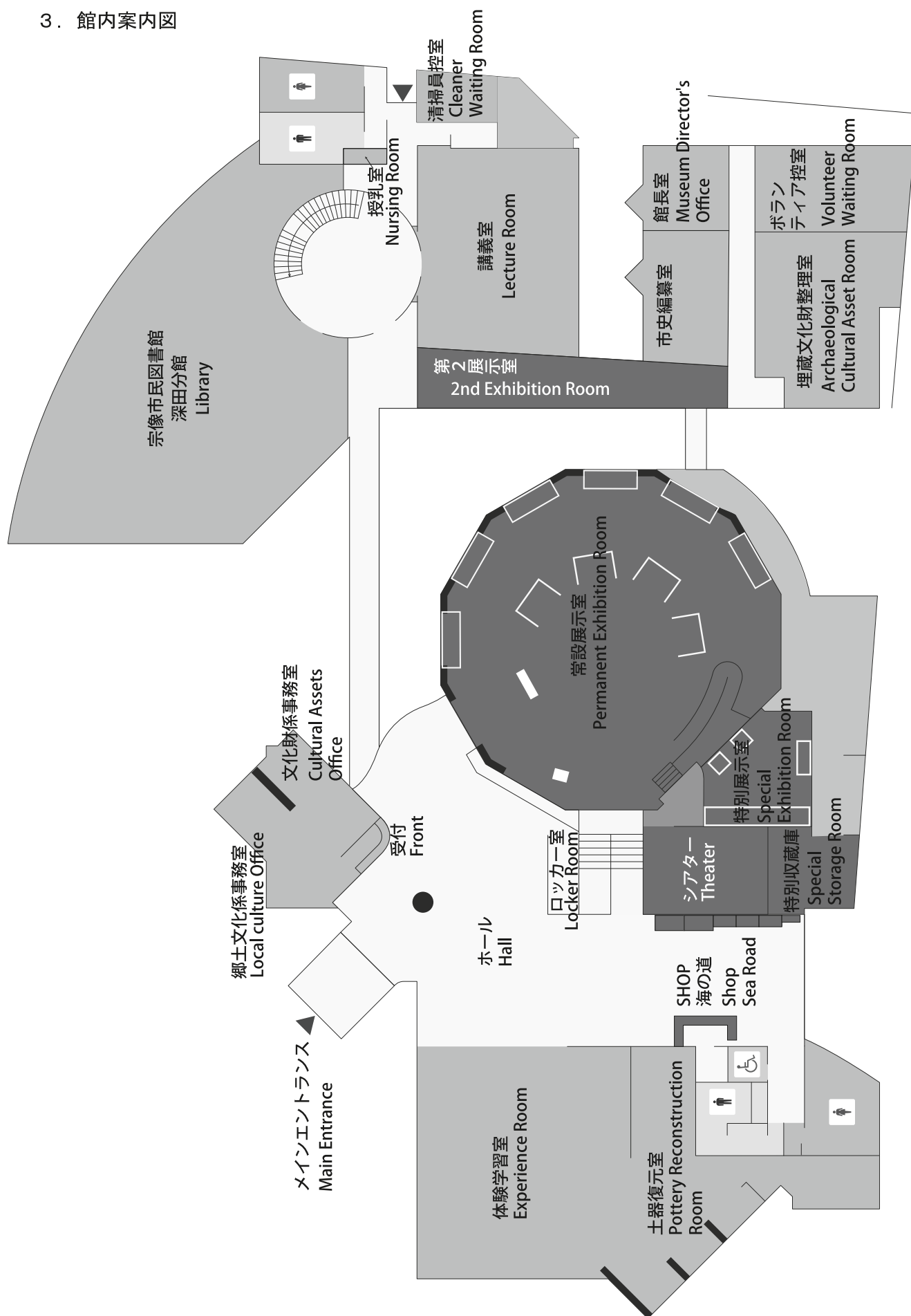
1 資料の名称及び員数

2 寄贈・寄託の別

寄贈 ・ 寄託

3 特記事項（条件）等

3. 館内案内図





▲エントランスホール



▲体験学習室



▲SHOP海の道



▲3Dシアター



▲常設展示室



▲特別展示室



▲第2展示室



▲講義室

4. 平成28年度 海の道むなかた館年間スケジュール

平成28年																										
			4月				5月				6月				7月				8月							
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4				
海の道むなかた館	施設展示	特別展示				春の特別展「稲元八幡宮と地域遺産」																				
		企画展示																夏の企画展「むなかたの漂着物展」								
		第2展示室展示	第3回滝純一絵画展						「みあれ祭の日に」絵本原画展								玄海東小POP展									
		館長講座		●				●				●					●				●					
		ミュージアムコンサート							●									●								
		主要イベント					●ゴールデンウィーク 特別体験学習											夏休みイベント (夏の課外授業) ・トヨタ自動車九州モノづくり教室 ・宗像の歴史絵本をきいてコラージュしよう ・貝輪づくり ほか								
		協力・関連イベントなど																	●	いせきんぐ宗像周年祭2016						
世界遺産	世界遺産関係	世界遺産登録推進活動						●	世界遺産推進会議											●	世界遺産市民の会総会					
	その他連携	学校向け ※年間を通じて受入実施	市内小学校				市内小学校 受け入れ(ハイシーズン)																			
その他連携		市外社会科見学	-----																							
		共同PR、 共同集客企画	●	春の観光イベント連携																●	夏の課外授業 連携					
地域の行事	宗像大社 鎮国寺	宗像大社						●	五月祭											●	大祓式・夏越祭				●	中津宮七夕祭
		鎮国寺	●	花まつり				●	柴灯大護摩供																	
		その他																								

平成29年

9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
				秋の特別展 「むなかたの山岳信仰 -ムナカタの考古学6-																								
清水耕蔵展				図書館共催展				「わたしたちの水」 絵画コンクール 作品展示				釣川の改修につくした人々				福岡県小学校 児童画展				第4回イタリア 交流児童画展				海の道むなかた館 ～5年間の軌跡～				
	●				●				●				●				●				●				●			
		●								●							●								●			
									●	むなかた模型作品展示会					●	正月イベント ・獅子舞 ・正月体験学習他												
				●	陸上神幸					●	プラネタリウムと北斗の水くみ海浜公園で星空ウォッチング					●	わくわく教育フェスタ											
					●	北斗の水くみ・星空観察会					●	玄海の家 わくわくチャレンジフェスタ																
										●	いせきんぐ宗像 秋祭り																	
●	イコモス視察																											
市内小学校 受け入れ												市内小学校 受け入れ																
市外小学校等 受け入れ																												
				●	秋の観光イベント連携																							
				●	宗像大社秋季大祭				菊花大会					●	古式祭★初詣					●	節分祭							
				★	みあれ祭					●	七五三祭					●	大祓式・除夜祭											
																								●	赤間宿まつり			



海の道むなかた館年報Ⅴ

平成 28 年度の報告
～郷土文化学習交流館年報～

発 行：平成 29 年 10 月 1 日

発行者：海の道むなかた館（郷土文化学習交流館・教育委員会）
TEL 0940-62-2600 FAX 0940-62-2601

印 刷：ニシムラ印刷
TEL 0940-36-2311 FAX 0940-36-3481

祝

世界遺産登録決定

「神宿る島」

宗像・沖ノ島と

関連遺産群

日本列島と朝鮮半島を結ぶ海域に
荘厳な姿を現す沖ノ島。

人々は古来、その島を敬い、畏れ、
祈りを捧げてきた。

五百年もの間営まれた祭祀の跡は、

その後、千年以上経ったいまも

当時の姿を残している。

国宝に指定された神への奉獻品は

八万点に及ぶ。

厳格な禁忌が今も受け継がれ

立ち入りは許されない。

信仰の場は沖ノ島から大島、本土の三か所に広がり、
海の安全をつかさどる宗像三女神が鎮座する。

沖ノ島を含む三つの信仰の場からなる宗像大社と

沖ノ島祭祀を行った人々が眠る新原・奴山古墳群は、

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群として

二〇一七年七月に世界遺産に登録された。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議

www.okinoshima-heritage.jp